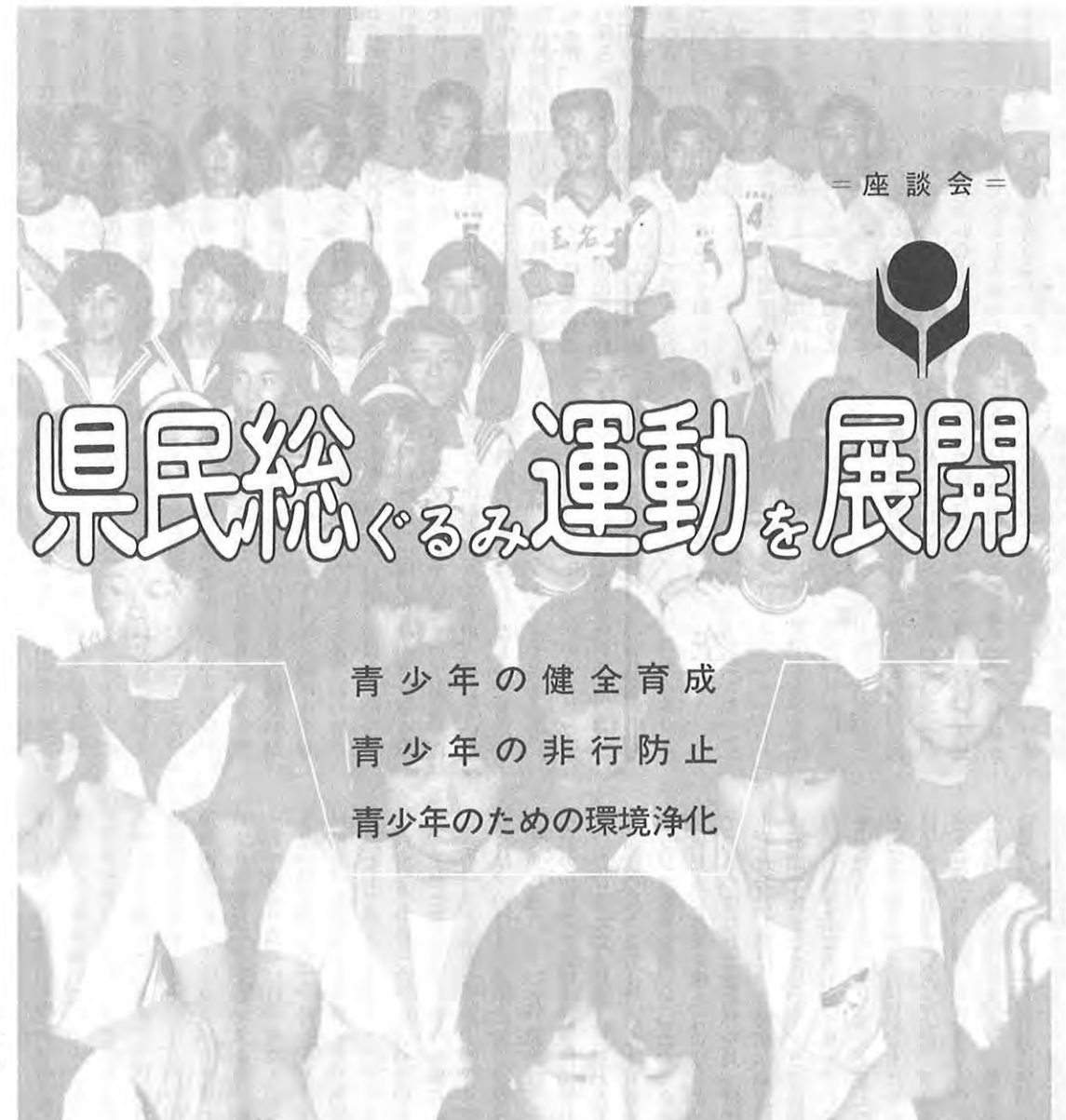




県民総ぐるみ運動を展開

青少年の健全育成
青少年の非行防止
青少年のための環境浄化



次代を担う青少年が、心身ともにすこやかに成長し、社会の発展に寄与することは、私たち県民の願いです。
そのためには、青少年自らが意欲をもち、努力することが大切ですが、家庭・学校・地域社会が共通の理解に立ち、互いに協力して育成に努めることが必要です。ここでは六名の関係者にお集まりいただき、青少年の健全育成と非行防止について話し合っていました。

出席者

- | | |
|-----------|------------------------|
| 沖田 美義 さん | 熊本市立竜南中学校
熊本市立竜南中教諭 |
| 御池 恵津 さん | 八代市婦人会副会長 |
| 中熊 清則 さん | 熊本市立竜南中教諭 |
| 園田 清貴 さん | 県立第二高校生徒会副会長 |
| 馬原 はつ子 さん | 婦人警察員 |
| 岡本 育 さん | 熊本市立竜南中教諭 |

青少年の健全育成

岡本 青少年非行の現状を警察の統計で見ると、補導件数が昭和四十年頃から横バイまたは減少の傾向にあったのが、四十九年頃から再び増加の傾向をたどり、いま戦後第三のピークを迎えたとされています。また、非行の特性として、非行の低年齢化、非行内容の悪質化、また、売春など性犯罪の増加等が挙げられています。原因として考えられることは、少年をとりまく環境の悪化、家庭教育の欠如など多くの問題が指摘されていますが、ご承知のとおり青少年対策は「一たす一は二」というように、すぐ答の得るような特効薬的な対策もなく非常に難しい問題であると言われています。



岡本青少年課課長補佐

そこで、熊本県青少年問題協議会においては、青少年の健全育成、非行防止について、今年「県民総ぐるみ」で取り

組むことにしようということ、七月一日から八月三十一日までを「青少年育成県民総ぐるみ運動」と定め、県下全域で運動が展開されることになりました。

そういう中で本日は青少年育成について座談会を開くわけですが、青少年の育成と非行防止、それに少年をとりまく環境の問題についていろいろお話をお願いしたいと思います。

まずは育成の問題です。話に入ります前に、さきに県で実施したアンケート調査結果を参考のために申し上げますと、青少年の健全育成で何が一番必要かとい

健全育成の基盤は家庭

— 我慢のできる子に育てる —



馬原婦人警察員

歳ぐらいいままでにやっていい事といけないう事、事始めをつけさせる。やっていけない事はガマンさせるといふ事ができてい

う問に対し、約半数の人が家庭教育を挙げています。ところが、その半面、家庭教育をどうしたらよいか自信がないという人が非常に多く、家庭教育の難しさを見せていますが、みなさんはいかがお考えですか。

馬原 非行少年と面接していると、必ずといっていい程、夫婦の不仲、かぎっ子、精神的崩壊家庭など家庭の問題にぶつかります。やはり、私は思うんです、幼児期の正しい躾が大事ですね。三

れば、後になって、大きな問題は出てこないように思います。

沖田 過保護の家庭が多いようですね。沢山の小づかいを与え、オートバイでもなんでもせいたく物を買ってやる。そういういたあまやかしが問題だと思いませんか。それから、親が自信を持って躾をしていませぬ。時代が違ふんだというふうな無理に納得しているようなところがあります。親として永い間の生活体験とい